

自昭和十二年十二月三日
至昭和十二年十二月三十日

陣中日誌

獨立攻城重砲兵

第二大隊段列



2193

十二月三日

十二月三日

天候 晴

於江陰城西側集結地

一午前七時三十分米田上等兵以下五名ヲシテ假列集結地トシテ適當ナル宿營地ヲ偵察セシメタル結果江陰城西側ナル紡績工場跡ヲ適當ト認メ此處ヲ集結地トスルニ決シ直ニ自動貨車七輛ヲ以テ彈藥ガソリン食料ノ積載ヲ終リ八時三十分出發同工場跡ニ到着宿營地ノ整備ヲナシ漸次後方ヨリ殘置セル彈藥燃料ノ集結ヲナシメ午後三時全部ノ集結ヲ終了ス

二午前十一時常熟ニ糧秣補給セル中原少尉ハ帰途無錫ニ於テ五具類ニ積載セル二車輛ト合シ共ニ歸着セリ

三假列長ハ午前十一時黃山東山砲台大隊觀測所ニ在ル大隊長ノ許ニ至リ假列集結地ノ移動及情勢ヲ報告ス此處ニ於テ午後二時独攻ニ作命第三十三號ヲ受領セリ

	四午後五時集結地ニ歸隊後彈藥置場車廠各小隊ノ宿營情况ヲ巡視シ所要ノ注意ヲ與ヘ衛兵ヲ區署ス
	五午後六時大倉ニ於テ彈藥ヲ補給セル畔内伍長ノ指揮セル車輛ハ九ノ如ク彈藥ヲ補給シ歸着セル
	尖銳彈 七二 裝藥一號 七二
	破甲榴彈 四〇 裝藥二號 四〇
	信管内管所要數共
	六午後九時常熟ニ於テ修理中ノ自動貨車三輛ハ福本上等兵ノ指揮ヲ以テ現在地ニ歸着セル
	七午後十一時三十分独攻ニ作命第三十三號ニ関シ梶浦大尉來隊アリ諸般ノ打合せヲナセル
	八独攻ニ作命第三十三號及昨三日夜來隊アリシ梶浦大尉トノ連絡ノ結果九ノ假列命令ヲ下セル
假列命令	假列命令 十二月四日午前零時五分 於江陰城西側

(昭和十二、四・四給津榮組合記)

2195

一、敵ハ常州西方約四軒ヲ退却シツ、アリ、江陰附近ハ完全ニ
去月二日陥落シ北岸ニ退却セリ

一、部隊ハ一部ヲ以テ江陰北岸攻撃ニ参加シ一部ヲ以テ常
州以西ノ敵攻撃ニ参加セントス

一、大隊假列ハ今ヨリ速カニ第一小隊ヲ主トスル車輛(尖銳彈
ニ車輛破甲榴彈ニ車輛裝藥信管門管共各二十
八發宛積載揮発油ニ車輛糧秣ニ車輛)ヲ九山少尉
指揮ヲ以テ去月四日午前十時迄ニ青陽鎮ニ又、路常州街
道ノ地奥ニ到着シ旆浦大尉ヲ指揮下ニ入ルハシ

之ガ為メ第二第三小隊ヨリ各々自動貨車一輛ヲ第一小隊
ヘ差込スハシ

一、衛兵司令歩哨隊ハ今ヨリ速カニ第二第三小隊ノ兵ト交代
スハシ

一、余ハ當分現在地ニ在リテ大隊長ト行動ヲ共ニス

十二月四日

十二月四日

天候 晴

於江陰城外

一、丸山少尉指揮ヲ以テ命令區署ニ依リ午前八時三十分第一小隊ハ勇躍出發セリ

二、午後四時三十分大隊長ヨリ軍司令部ニ在リ齊藤中尉ノ許、江陰附近及其以西ノ地圖受領、爲ノ連絡兵ヲ出スベキ

命ヲ受ケ直ニ橋本伍長ヲシテ傳令セシム

四三 午後七時南關鎮放列ニテ連絡、爲ノ一部殘留セシメアリ

タル秋月伍長ハ準備裝藥ノ更換、爲ノ自動貨車一ヲ以テ裝藥一号ニシテ積載後方放列ハ準備セリ

四、上海ニ派遣シタル中村准尉、指揮スル自動貨車ハ午後十一時上海野戰砲兵廠倉庫ニ於テ歸上靴、靴下、手袋等ヲ滿載シテ歸着セリ

五、本日第二中隊發射彈數九ノ如シ

十二月五日

十二月五日

天候 晴

於江陰城西方集結地

一、午前八時梶浦大尉指揮ニ在リシ第一小隊長丸山少尉ハ彈藥補給爲メ貨車ニヲ以テ歸隊セリ、彈藥ヲ補給シ引返セリ

破甲榴彈

二四

榴彈

二四

裝藥二号

四八

信管明管所要数

ニ、午前十時中村准尉ヲシテ、縮上、靴、其他被服類ヲ第一中隊ヲ除キ本部第三中隊大隊暨列中野隊ニ分配セシム

三、独攻ニ作命第三十五號ニ依リ陣地ノ前進アリ直ニ中村准尉ニ命シ自動車七輛ヲ以テ集結地ヨリ彈藥ヲ積載新陣地放側ニ準備セシム

四、江陰黃山砲台附近ニ放於テ敵ノ遺棄セル飛行機用カリリ

五、本日第二中隊發射彈數九、通り

尖
銳
彈

三

2201

十二月六日	十二月六日 天候 晴	於江陰城西方集結地
	一、午前九時三十分常熟へ食料補給爲、四日午前十時出發	
	ル伊尾曹長、指揮ル貨車二輛ハ帰隊セリ	
	二、午前九時三十分中村准尉、乗用車三ツニ號車ヲ以テ貨車	
	一輛ヲ指揮シ上海野戰砲兵、敵倉庫、防寒服受領其他、	
	要務ヲ帶ビテ出發ス	
	三、午後五時三十分本部小口、富山、西少尉ハ中尉ニ進級セル旨	
	發表、同時ニ独攻ニ作命第三十六號ヲ受領セリ	
假列命令	四、右ニ基キ帰隊直ニテ、假列命令ヲ下セリ	
假列命令	十二月六日午後八時 於宿營地	
	一、陸軍輕重特務兵ニ等兵、伊丹時造ハ十一月一日附ヲ以テ陸	
	軍輕重特務兵一等兵ヲ命ス	
	一、明七日午前八時谷口准尉指揮ヲ以テ自動貨車空車ハ	

			以テ攻城砲兵廠無錫支廠ニ破甲榴彈一〇〇頭銳彈一〇〇、	榴彈三〇ヲ受領シ常州ニ在ル先發橋浦隊彈藥置	場ニ集結スル			ハ山本隊ハ明日ヲ以テ現在宿營地ヲ撤集シ得ルノ準備ニ	在ル								飯列長 山本 中尉					五昨日江陰要地 ^峯 黃山砲台附近ニ於テ発見微聲セルガソリシノ	殘餘ノ中八十鐘ヲ運搬ス						大谷口准尉ヲシテ現在飯列準備裝藥中戰術情況ニ依リ一	裝藥ノ不足ヲ来セルヲ以テ無錫攻城砲兵支廠ニ於テ二号裝	藥ト交換スルヲ命ジ之ヲ交換セシム																															
--	--	--	----------------------------	-----------------------	--------	--	--	---------------------------	----	--	--	--	--	--	--	--	-----------	--	--	--	--	---	-------------	--	--	--	--	--	---------------------------	----------------------------	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(昭和十二、四・四陸軍組合部)

2203

十二月七日

十二月七日

天候

晴

於江陰城西方集結地

ハ午前八時昨日、假列命令ニ基キ谷口准尉指揮ヲ以テ自動貨車ハ車輛ヲ無錫攻城砲兵支隊ニ彈藥補給ノ為メ出發シ米田上等兵外兵一名ヲ途中ヨリ本隊ト連絡ニ當ラシムル為メ刻率セリ

ニ午後一時無錫ニ連絡ノ為メ谷口准尉ト共ニ出發セル米田上等兵ヨリ九ノ報告ニ接ス

ハ無錫攻城砲兵支隊ニ於テハ八九式十五加ノ彈藥ハ到着シ非スハ尚一兩日中モ到着ノ見込ナシ

ニ谷口准尉ノ指揮セル車輛ハハ大倉攻城砲兵支隊若クハ本予團全支隊迄モ行カザル受領出来得ザル付大倉ニ向テ出發セリ、右ノ報告ニ依リ現在地ニ在ル彈藥ノミヲ差シ當リ常州ニ移動セル為メ中原少尉ニ指揮ヤシメ貨車

十二月八日	十二月八日	天候	晴	陸軍
		自江陰至丹陽	於丹陽餓列集結地	
一午前八時江陰要塞黃山東山砲台上大隊觀測所ニ在ル大隊長ト連絡ヲ取ル餓列集結地ヲ出發全九時三十分大隊長ト連絡、結果部隊ハ今ヨリ鎮江攻撃ニ参加スル爲メ餓列ハ諸般準備ヲ整ヘ出發ヲ準備スルハ命令ヲ受テ直ニ餓列集結地ニ歸着セリ餓列命令ヲ下セリ				
餓列命令	餓列命令	十二月八日午後十二時十分	於江陰城西側餓列集結地	
一今朝來揚子江敵前渡河ヲ次行セル友軍部隊ハ我が部隊ト海軍トノ援護ニ依リ完全ニ渡河ヲ敢行セリ 二南京攻撃ヲ参加セル友軍部隊ハ昨日、情況ニ依リ湯水鎮(東方約二十軒)土橋鎮溧水ノ線ニ接近シヨリ一部ヲ				

以テ丹陽ヨリ北進シ鎮江要塞ヲ攻撃セントシツアリ
 三部隊ハ今ヨリ速カニ現在地ヲ出發シ青陽鎮常州丹陽ヲ
 徑テ鎮江要塞ノ攻撃ヲニテ加セントス
 四山本隊ハ今ヨリ速カニ出發準備ヲ完了シ午後ニ時迄ニ宿營
 地前道路上ニ於テ出發ノ体形ニ在ルヘシ（ニ食分携行）
 五之が爲メ自働貨車三ヲ以テ中原少尉指揮ニテ放側並ニ
 倭列ニ在ル彈藥全部ヲ積載スヘシ
 六倭列ニ有スル揮発油、食料、被服類等（彈藥以外モノ）ハ現在
 地ニ残置スベシ之が爲メ第三、三小隊ヨリ各兵三名ヲ殘留
 セシメ中川主計ヲ指揮下ニ入ルベシ
 七倭列大隊本部間ノ通信ハ今ヨリ速ニ徹夜シ彈藥車ト共ニ
 前進スベシ
 八余ハ現在地ニ在リテ出發後ハ倭列ノ先頭ニ在リテ大隊觀測車
 ニ續行ス

（昭和十二、四、四陸隊發組合紀）

餓列長 山本 中尉

下達法 分隊長以上ヲ集メテ口達筆記セシム

江陰出發

式午後四時十五分餓列命令ニ依リ區署セラレタル處、行軍隊形ニ

在自動貨車三及修理車ヲ指揮シ残留者谷川伍長以下六

名ヲ中川主計ト共ニ残置シ所要ノ注意ヲ與ヘ出發ス

ニ午後五時青陽鎮通過

常州到着

四青陽鎮ヲ經テ常州ニ向テ道路連日來ノ多部隊ノ通行ニ依リ

道路面ハ凹凸激シテ他部隊ノ自動貨車多數ノ前進不能ニ陥リ

在ルヲ以テ乘車兵員ヲ督勵シ甚シキ所ニ適守板ヲ以テ補ヒ工作人

員ヲ以テ修理ヲ行シ辛シテ午後八時常州西端昨日先行シテ

設置シテ餓列駐屯所ニ到着ス此ノ時谷口准尉ト共ニ彈藥

補給ノ爲メ大倉ニ向エル秋月伍長ヲ指揮セル貨車四輛ハ大

銃彈一ロロ發テ補給シ同地ニ到着セリ依リテ直ニ北ノ命令ヲ

下シ各々其ノ區署ニ依リ行動セシム

餓列命令	五	餓列命令	十二月八日午後八時三十分
			於常州西端餓列駐屯所
		一部隊ノ先發隊(大隊本部)ハ大隊長ノ指揮ヲ以テ今ヨリ約	
		三十分前現在地ヲ出發シ金壇城丹陽道ヲ丹陽ニ向ケ	
		出發セラレタリ	
		ニ山本隊ハ今ヨリ金壇ヲ經テ丹陽ニ向ケ前進セシトス	
		現在地出發ハ今ヨリ三十分後ノ午後九時ノ豫定ナリ	
		ニ大倉ヨリ彈藥ヲ補給シ来タル四ヶ車輛ノ中ニヶ車輛ハ直ニ	
		現在地ニ却下シ橋本伍長指揮ヲ以テ空車ニテ江陰城西	
		側餓列集結地ニ向ケ出發シ同所ニ残置シアル揮發油並ニ	
		食料ヲ積載シ丹陽ニ向ケ追行スベシ	
		残留員ノ先任者ニ萬一上海ヨリ中村准尉歸着セバ速カニ丹陽	
		ニ追行ス可ク連絡ヲ取り置クベシ	
		他ノニヶ車輛ハ餓列長ト共ニ丹陽ニ向ケ續行スベシ	

(昭和十二、四、四陸陸軍組合誌)

2209

四、現在地ニ在ル彈藥ガソリンハ中原少尉指揮ヲ以テ看視兵

ヲ附シ爾後江陰——丹陽間相互ノ連絡ニ當リ後刻通

過スル戰砲隊ノ燃料補給等ニ萬遺憾ナカラシムベシ

五、余ハ今ヨリ三〇一号車ニ在リテ部隊ノ先頭ヲ前進ス

假列長 山本 中尉

下達法 分隊長以上ヲ集メ口達筆記セシム

常州出發

大午後九時十分豫定ノ如ク先ツ金壇城ニ向テ常州西端ヲ出發ス

七、午後十一時三十分金壇城東方四軒地奥ノ道路上ニ於テ梶浦隊ト

行動ヲ共ニ丸山少尉ノ指揮ニ在ル中野上等兵ノ指揮スル車輛ト會ヒ

是ヨリ諸種ノ情報報告ヲ受ケタル後江陰ニ残置シタル土工具並ニ

揮發油等ノ輸送ヲ命ジテ引續キ前進十二時半金壇城ヲ通過ス

八、金壇城北方約一軒地奥ニ於テ富山中尉並ニ丸山小隊隊列揮發油

補給所（丸山少尉が敵軍ヨリ徵發シテ集結セシモノ）看視兵ト連絡ヲ

取リ引續キ丹陽ニ向テ前進ス

丹陽到着	九日午前十時十分丹陽に到着し直ニ部隊長ニ假列ノ先頭到着
	此旨報告シ連絡ヲ得タリ
	一〇、情况急ヲ要スルコトヲ思ヒ前進ノ途中遅レル車輛ハ切離シテ前進セル為ニ途中ニテ故障セル修理車等ノ最尾到着ハ午前六時ナリ
	此時眞茹(李子園)ニ於テ彈藥ヲ補給セル谷口准尉ノ指揮スル彈藥車ハ尖銳彈一〇〇発ヲ四ヶ車輛ニ積載シ現在地ニ到着セリ
	二、本日ノ走行距離 一、二六、九
功績者	一、去ル十二月四日より本日ノ沿路附近沼田支隊渡河戦斗中ニ於テ特ニ功績顯著ナル下士官兵九ノ如シ
	第二小隊 橋本伍長
	全 富田上等兵
	第三小隊 畔内伍長
	全 山口上等兵

(昭和十二年四月四日陸軍組合誌)

2211

本戰開周ニ於ル編成ハ別紙、如、大隊假列（第一小隊缺）
編成表トス。

2212
2212

十二月九日	十二月九日	天候	晴	於丹陽餞列集結地
餞列長連格 一為×先行	一、午前六時三十分餞列長ハ大隊長ヨリ道路偵察ヲ兼不旬谷ニ 前進シテ梶浦隊ト連絡ヲ取ル可ク命セラレ直ニ兵三ヲ引率シ 乗用車ニテ丹陽ヲ出發途中道路偵察ヲナシツ（戦車隊數ヲ 所アレ共多少ノ補修ヲナセハ通過シ得ル見込橋梁ノ破壊サタル 箇所ニテ所アレ共修理完全ナラサルモ迂迴スル道アリ）自動車ハ 積載物ヲ半減却下セハ通過シテ砲ハ牽引車ニ車輛ヲ以テ牽 引スルハ通過シ得ル見込事ヲ確メ午前八時三十分旬谷ニ到 着ス			
	二、旬谷警備隊ニ至リ梶浦隊ノ所在地ヲ取り調々タル湯水鎮方 面ニ個タル如シトノ情報ヲ得テ直ニ北進シ約十二軒前進セル橋梁 破壊サレテ前進不能トナリ尚其ノ附近ニ梶浦隊ノ通過セル如キ 跡ヲ認め且ツ各部隊ノ同地ニ輜輳シアリテ止ムヲ引率返ルニ旬谷市			

（昭和十二、四、四四四號機合組）

2213

政府跡に軍司令部に至り副官並に第一隊長ヲ訪問シタルニ要領ヲ止不遂ニ連絡、使命ヲ果シ得ズ同司令部ヨリ南京附近十萬分ノ一地圖五部ヲ受領シ午後二時三十分歸路ニ就キタル時自峇東方橋梁破壊地矣ニ於テ先行セシ大隊長ニ出逢ヒ此旨報告シ大隊長ハ引續キ湯水嶺迄連絡、為メ前進セシ倭列長ハ丹陽ニ折返シ午後六時十分丹陽倭列集結地ニ歸着シ道路ノ状況並ニ情況ヲ觀測班長ニ報告セリ

三十日午前一時三十分大隊長ハ湯水錫^嶺ニ在リ旣浦隊ト連絡シテ丹陽ノ大隊本部ニ歸着直チニ部隊ハ今朝嶺迄ニ前進スベキ命令ヲ受領セシ付キ尤、倭列命令ヲ下セリ

倭列命令

倭列命令

十二月十日午前二時

於丹陽倭列集結地

一、部隊ハ今朝午前七時出發嶺迄ニ向ヒ前進スルニ
ニ山本隊ハ一部ヲ以テ旣浦隊ハ彈藥揮發油、補給ヲナシ殘

餘ノ車輛ハ假列長ト共ニ鎖江ニ前進スル	三之が爲ノ秋月佐長ハニヤ車輛ヲ以テ一ヤ車輛ニ破甲榴弾共銳 彈ヲ等分ノ割合ニテ一ヤ車輛ヲ以テ揮發油ヲ満載シテ前七 時現在地ヲ出發ヨリ終テ湯水鎮ニ在ル梶浦隊ニ補給スル 四殘餘ノ自動車ハ谷口准尉指揮ヲ以テ彈藥ヲ満載シ 五前八時鎖江ハ前進スルヲ出發準備ヲ完了シタル	五明朝出發ノ際全量ヲ積載シ得タル留置スルヤ彈藥揮發 油ハ北村軍曹ノ指揮ヲ以テ附屬各小隊ヨリ兵各一名ヲ出シ 殘留ヲ看視セシ	六余ハ行軍間ハ假列先頭ニ一ノ号車ニ在リ 本朝大隊長ニ續行シテ鎖江ニ向テ前進ス	假列長 山本 中尉	下連諾 分隊長以上ヲ集メ口達筆記セシ
--------------------	--	--	---	-----------	--------------------

(昭和十二、四。四陸軍機組合誌)

2214
2215

十二月十日	十二月十日	天候	晴
		自丹陽至鎮江	
		於鎮江宿营地	
		ハ又明待リテ區署ニ依リ出発準備ヲナシ午前七時秋月伍長ノ 指揮スルニテ車輛ハ梶浦隊ハ残餘ノ自動貨車ハ合口准尉指 揮ヲ以テ出発準備完了シ積込ミ得サル殘余ノ彈藥カリシハ北 村軍曹以下兵四名ヲ附シ之ヲ看視セシメ午前八時三十分大隊 觀測車ニ續行シテ鎮江ニ向テ出発セリ	
		途中他部隊ノ行進輻輳シテ意ノ如ク進ムルモ漸ニシテ之ヲ抑リ 拔リ午後二時三十分鎮江南端ニ到着ス	
		ニ假列長ハ午後三時大隊長ト共ニ觀測所並ニ放列位置ノ決定ニ 隨行シ次テ宿营地ハ鎮江北端暨南政學校ト決定シ直ニ一部ヲ以テ 設営準備ニ當リシメ殘餘ノ人員ヲ以テ彈藥カリシメ各々ノ所 定ノ場所ニ却下セシム	

(昭和十二、四・四陸産藥組合誌)

22-17
22-16

四、午後六時十分橋本伍長ノ指揮セル一車輜ハ江陰ニ残置セルガソ リンヲ滿載現在地ニ到着シタル付テ直ニ却下セシメ他ノ二車輜ト共ニ 針ニ車輜ヲ以テ江陰ニ引返シ殘餘ノ食料其他全部ノ輸送ニ當 ラシメ江陰ニ残置セル江陰集結地ヲ閉鎖引キ揚ゲシ	五、上海ニ派遣セル中村准尉ハ防塞被服下給品油類小包郵便物等 ヲ滿載シテ午後九時十分現在地ニ到着セリ報告書ハ北記ノ通り	六、鎮江現在地ニ於テ本日準備彈藥揮發油トナレシ	一、破甲榴彈 八〇	一、榴霰彈 四	一、尖銳彈 一九	一、裝藥一号 一〇三	一、揮發油 一三〇、五	七、本日走行距離 六十軒
--	--	--------------------------------	------------------	----------------	-----------------	-------------------	--------------------	---------------------

中村准尉上海派遣報告書

十二月十日午後十時

於鎮江宿营地

六日午後五時上海に到着兵站部に於て宿泊給養を受け七日吳松野戦砲兵廠に於てスロッドルかりヤシ一蒸留一を受領上海野戦倉庫に至り防寒襦袢袴下筒手袋靴下襪板一個其他ヲ積載第四十第四十二野戦郵便局及第四十附属野戦郵便局に於て郵便物受授

八日大場鎮野戦郵便局其他前項各郵便局に至り郵便物受領後上海野戦依糧廠に於て煙草及甘味品ヲ受領後各中隊ヨリ依託サレシ所要ノ買物ヲナシ九日午前八時三十分上海發午後五時江陰ニ帰着残留兵中川主計及谷川伍長ト所要、連絡ヲナシ一泊

十日中野隊ノ車輛ヲ招致シ防寒被服及加給品郵便物等ヲ渡シ後残留兵ノ谷川伍長ヲ下リ引連レ鎮江ニ向テ途中

(昭和十二年四月四日陸軍省合誌)

2219
2218

陸 軍

常州ニ於テ待機中ノ第ニ小隊長ト連絡シ同所ヨリ彈藥車一
車輛ヲ引テ歸途丹陽南方約十料地英ニ於テ自動貨車
三ニ一ノ左車輛輪ホイル破損ノタメ前進不能ニ陥リタルヲ以テ乘
用車ニ依リ鎮江ニ廻リ午後九時三十分假列長ニ此旨報告
土日故障車ノ箇所ニ至リ自動手岸本ノ等兵ニ部分吊徴發ヲ
命シ同所ヨリ常州向ニ於テ道路上ニ遺棄シタル自動車中ヨリ前
車輪ノアックス及ボイル其他ニ組ヲ集收セシメタル所同ノ等兵ハ助
手喜田一等兵ト共ニ極力之ガ集收ニ努メ日没頃歸着道中ニ
寢食ヲ瘵シ午前四時自行シ得ル程夜ニ修理シ得タル以テ
天明ヲ待ツテ丹陽移動修理班ニ至リ補修完成シタル後午
後九時三十分江陰ニ到着セリ
此ノ際ニ於テ第ニ小隊自動車手岸本ノ等兵ノ寢食ヲ瘵シ
タル行動ハ誠ニ兵ノ模範ト云ふヲ特ニ功績顯著ナルトテ
附記ス

2220
2219

[illegible]

(昭和十二、四) 四嶋産紫組合(株)

2221

十二月十一日

十二月十一日

天候 晴

於鎮江假列宿營地

ハ常州西端假列集結所ヲ徹收スル爲メ中村准尉ニ命ジ貨車三車
 輛ヲ以テ午前八時三十分出發セシメ途中丹陽南方ニ於テ故障ヲ生セ
 ル自動車三二一號車ニ連絡ヲ取ラシメタリ

ニ谷口准尉ヲシテ常州攻城砲兵支隊ニ彈藥補給並ニ一部ヲ以テ
 常州假列集結地ニ残置シテ彈藥輸送ノタメ午前八時三十分
 出發セシメ

三十二時三十分常州假列集結地ヨリ尖銳彈一車輜到着セリ

四、昨十日早朝秋月伍長指揮ヲ以テ梶浦隊ニ彈藥ガリンヲ補給
 セシタルニ一車輜ハ本日午前九時三十分丹陽集結地ニ帰着一車
 輜谷口准尉指揮下ニ入り常州ニ趣キ一車輜ハ丹陽集結地ニ
 残置セル彈藥ノ内尖銳彈ニハ榴彈三、破甲榴彈一ヲ積載
 鎮江宿營地ニ午後二時三十分到着シ丹陽ニ在ル殘彈藥救其ノ

他ノ報告ヲ受ケタリ	
五午後六時中川主計ノ許ニ糧秣補給ノ為メ差シ出シアリタル畔内伍長ノ指揮スルミヤ車輜ハ所要ノ糧秣ヲ補給シ帰隊セリ	
六午後六時三十分本庄上等兵ノ指揮セル故障車一四号車ハ無錫野戰自動車廠ニ於テ修理完了帰隊ノ途次常州集結地ニ於テ尖銳彈ニ八發分ヲ積載現在地ニ帰着シタリ	
七午後十時三十分常州攻城砲兵支隊ニ彈藥補給ノ為メ谷口准尉ノ指揮スル貨車四車輜到着補給彈藥ハ左記ノ通り砲兵廠ニテ受領豫約ス	
一、破 甲 榴 彈	一、二、〇
二、尖 銳 彈	一、三、二
右豫約セル内到着セル彈藥數左ノ如シ	
一、破 甲 榴 彈	五、〇
二、尖 銳 彈	五、〇

(昭和十二、四、四約産藥組合誌)

2223

報 告

ハ 十二月十日午後十時

於鎮江宿舍

大隊隊長 山本中尉

大隊長殿

一本士、日前十時、視補隊に附屬せし隊列、九山小隊ヨリ空車

三輛ヲ以テ後方へ彈藥補給ニ来リ、急シ要スル旨聞キタルヲ

以テ独断ニテ丹陽ニ集結シ、彈藥ノ内、尤ノ如ク補給セリ

一、破甲榴彈 二三發

二、尖銳彈 七〇發

三、本日谷口准尉ヲシテ常州ノ攻城砲兵支隊へ彈藥補給ノ爲

メ向ハシタルニ其ノ歸着報告ヨリ依ヒハ彈藥一發モナク破甲榴彈

尖銳彈合計ニ五〇發到着シ、アリ之ヲ全部万波部隊

ニ受領スヘリ豫約シ差シ當リ其ノ内一〇〇發ヲ運搬

輸送本夜十一時到着セリ									
榴彈一〇〇發ハ攻城砲兵支隊ニ依頼ヲナシ後方ヨリ常州ハ									
運輸方ヲ構セラル(可)連絡ヲ取ル置カシメタルモ鎮江									
攻撃ニハ間合ハサルモト思考サル									
四本夜十一時現在ノ所有彈藥ハ概ネ尤々如シ									
(本日ノ發射彈數ハ差シ引キアリ)									
一、破甲榴彈 一二六發									
別ニ後方ニ二九發アリ									
二、尖銳彈 一一四發									
三、榴霜彈 七發									
別ニ後方ニ一〇發アリ									
合計ニ八六發所有ス									
五、本日江陰ノ假列集結地ハ全部引キ揚ゲ輸送終リ									
食料ハ約十日分(ニヶ車輛)到着スル筈ナリ									

(昭和十二、四・四陸陸軍組合誌)

陸 軍

六、明日中ニ、常州及丹陽ノ散列集結地ハ全部引き揚ケ
鎮江ニ集結シ得ル見込ナリ

七、常州攻城砲兵支隊ニテ豫約セル殲藥が全部受領集
結が終了ナセハ、四三六發トナリ若シ榴彈が常州砲兵支隊
迄到着ナセハ、五三六發トナル筈ナリ

八、上海ニ向ケル車輛ハ金壇附近ニテ故障ノ爲メ停車中ナル
モ本日應援車ヲ差シ向ケ、明十二日中ニ鎮江現在地ニ
到着、豫定ナリ

以 上

2226

十二月十二日	十二月十二日	天候 晴	於鎮江宿營地	
一、大隊假列集結地ナル歐西政學院附近ニ陣地ヲ占領セル我が部隊ハ今朝來天谷支隊渡河開始ノ爲メ揚子江北岸ニ向テ有効ニ射撃ヲ開始シツアリ	二、假列長ハ午前十時甘露寺大隊觀測所ニ至リ大隊長ト連絡シ爾後ノ戰鬪ニ関シ打合セラ行ヘリ	三、友軍爆撃機ハ我が部隊ノ射撃目標附近ニ向テ盛ニ空爆ヲ行ヒツアリ午前八時頃我が海軍ハ猛撃シツ、鎮江上流ニ向テ入港セリ	四、午前九時谷口准尉ニ命ジ常州攻城砲兵支隊ニ於テ豫約セル彈藥ノ残部ヲ受領ノ爲メ自動貨車セケ車輛ヲ以テ來タセシリ	五、午後零時三十分常州假列集結地ニ在リテ江陰―丹陽間

(昭和十二、四・四陸軍機密令)

2227

	連絡ニ當リアリタル中原少尉ハ自動貨車ニテ車輛ヲ以テ残置
	セル輝發油、土工具等ヲ積載シ積ミ残ヤリガリシ等ニ對シ松江
	上等兵以下兵ニ名ノ看視兵ヲ附シテ残留セシメ現在地ニ到着リ
	大午後一時橋本伍長ニ命シ貨車ニ車輛ヲ以テ常州集結地ニ
	中原少尉ノ區署ヨリ依リ残留セル松江上等兵以下兵ニ名ノ
	監視セル残置品ヲ輸送引キ揚ヤノ為ノ出カセシム
冊陽集結所 引揚完了	七、午後九時常州攻城砲兵支隊ハ彈藥補給ニ趣ルル谷口准尉
	及今九時三十分江陰集結地ヨリ輝發油其他ノ残置品ヲ
	引揚ハ輸送シ来ル畔内伍長ノ指揮スルニ車輛ハ歸途冊陽
	集結地ニ残置セル北村軍曹以下兵四名ノ監視セル彈藥
	及輝發油ノ残數全部ヲ積載シ同集結地ヲ搬收シ各々
	現在地ニ歸着セリ
	八、本日第二中隊發射彈數左記ノ通り
	一、破甲榴彈 一、五發

[illegible]

二、尖銳彈

三四發

(昭和十二) 四、四股産業組合部

2229

陸軍

十二月十三日

十二月十三日

天候 晴

自鎮江至句容

於句容東端道路上

一、鎮江醫政學院附近、彈藥燃料置場及放列附近ノ
警戒戒ニ任シ居タル富田上等兵ハ午前五時半、彈藥置場ノ
東方土民ノ人家附近ニ於テ敗殘兵ヲシキ與テ動怪シキ者
アルヲ發見シ之ニ隨行セルニ突然又物ヲ以テ不意ニ抗シ来リ
テ同上等兵ヲシテ負傷セシメ、暗夜ヲ利用シテ速カニ行衛ヲ
クラマシタルヒヨ、急報ニ接シ直チニ附近ヲ搜索シタル判人見当
ラズ富田上等兵ハ直チニ應急ノ手當ヲナシ中村准尉ヲ隨
行セシメテ丹陽野戰病院ニ入院セシム

二、午前八時甘露寺大隊觀測所ナル大隊長ノ許ヘ米田上等兵
ヲシテ現在集結セル彈藥、揮發油其ノ他ノ報告ヲナサシメ尙
常州攻城砲兵支廠ヘ榴彈ヲ補給ノ爲メ車輛ヲ差シ向リ可キヤ

2230

	否ヤヲ連絡セシメタニ 部隊ハ今日中ニ移動スベキ情况ニ在ル車
	輛ハ成ル可ク 現在地ニ集結シ置クベシトノ命ヲ受ケタリ 依ツテ各
	車輛ヲ現在地ニ待機セシム
	三ヶ月前九時ヨリ 隊列集結地ニ於テ中村准尉ニ命ジ防寒用被服
	及食料ノ配給ヲナサシム
	四午後二時 部隊ハ句容ヲ經テ湯水鎮ニ向テ前進スルコトナセリ
	依ツテ直ニ出發準備ヲナスヲ九ノ命令ヲ下セリ
隊列命令	隊列命令 十二月十三日午後二時
	於鎮江隊列宿营地
	一 部隊ハ今日ヨリ 現在地ヲ出發 句容ヲ經テ湯水鎮ニ向テ
	前進セントス
	ニ之ガ山本隊ハ今日ヨリ速カニ谷口准尉指揮自動車五ヲ
	以テ現在地ニ集結セル 彈藥ヲ満載シ速カニ出發準備ヲ
	完了スソソ

(昭和十二、四・四船産業組合誌)

三中原少尉ハ現在地ニ残留シ五陰及常州集結地ヨリ残
置品ヲ積載各々引キ揚ケ来ル指揮官ト連絡ヲ取り残余ノ
自動車貨車ヲ以テ現在地ニ残留セル彈藥及揮發油其
他ヲ積載追行スヘシ

然レテ現在地ノ残留品中積載出来得サル爾餘ノ物品ニ
對シテハ適當ノ監視兵ヲ残留セシムルヲ要ス

四修理車ニテ車輛ハ先發隊ノ最後尾ヲ續行スヘシ

五余ハ部隊ノ行進間乗用車三〇号車在リテ大隊觀測車ノ
後尾倣列ノ先頭ヲ前進ス

倣列長 山本中尉

下達後 分隊長以上ヲ集メ口達ス

六午後四時三十分出發準備完了シ一部ノ残留者ヲ殘シ鎮江集
結地ヲ出發ス

七午後六時三十分丹陽三叉路ニ到着先刻丹陽野戰病院ニ

入院セシメタル富田上等兵ノ病状ヲ知ルタメ約一時間停車此間ニテ食ヲ取ラシム

八午後七時三十分句容ニ向テ同地ヲ出發ス途中道路悪質ニシテ後尾車輛ノ續行困難ナルモ導板ヲ敷キ道路ノ補修ヲナス等漸クシテ通過句容入口ノ橋梁破壊地矣ニ至リ橋梁修理出来ザル爲ノ臨時仮橋ヲ渡リ坂ノ登リ口ハ急勾配ナル全兵負ヲシテ貨車ノ後押ヲナサシメ漸クシテ難路ヲ通過シ午後九時三十分句容ニ到着セリ

九句容城門前ヲ北折セシ時先行部隊ヨリ前方ニ敗殘兵ノ襲撃ヲ爲メ停車警戒中ナル通報ヲ受テ他部隊ノ自動貨車多數停車シテ爲メ通過不可能トナレリ依ツテ止ムナリ前後ノ他部隊ト連絡ヲ保チ警戒兵ヲ附シ自動車上ニ仮眠ス
九本日ノ走行距離九十六軒

(昭和十二、陸・四國産業組合誌)

2233

十二月十四日

十二月十四日

天候 晴

於麒麟門宿營地

一、昨夜、敵龍衣を我が嚴重ナル敬言、戒爲ノ其ノ後龍衣撃ノ聲ニ出
テス今朝未前方ノ様子ヲ偵察セルニ敵兵ヲシキモヲ認メズ依リテ
午前六時三十分薄暗ナレ共全員ニ敬言、戒ヲサシメツノ前進出發
セリ

二、午前八時麒麟門十字路ニ到着此處ニ於テ大隊副官岡田
少尉茲ニ梶浦隊ニ附屬セル段列第一小隊員本軍曹ノ指揮スル
車輛ノ停車ニ在ル會シ此處ニテ梶浦隊ノ情況其他ノ報告ヲ
受テ朝食ヲ取ラシム

三、午前九時同地ニ於テ攻城砲兵支隊木村部隊ト連絡ヲ取り尚ホ
内山旅團司令部ヨリ下給品ヲ受領スルヲ連絡アリタル爲メ北村軍
曹ヲテ指揮セシメ自動貨車一ヲ以テ同司令部ニ至リ午前十時
六百三十名分ヲ受領歸隊セリ

仙鶴門鎮着	四午前十時三十分麒麟門出發シ正午仙鶴門ニ於テ放列陣地ヲ敷 ケル第一中隊ノ許ヘ到着直ニ先行セタル大隊長ニ假列到着ノ旨 報告同時ニ梶浦大尉ト連絡ヲ取り尚第一小隊長丸山少尉ヨリ 梶浦隊ト行動ヲ共ニセル間ノ情况報告ヲ受テ以後丸山少尉ハ梶 浦隊ノ指揮下ヲ離シ假列長ノ指揮下ニ入レリ
	五是レヨリ道路上ニ於テ假列指揮位置ヲ選定シ兵員ニ晝食ヲ 取ラシメアリシ時前方ヨリ敵襲ヲ報ジ来ル依而直ニ各小隊長ニ命 シ各々警戒戒備署ヲ興ヘ全員ヲ以テ警戒戒セシメ尚附近ニ放列ヲ 敷シアル十加部隊共ノ他ノ部隊共連絡ヲ取り警戒戒ヲ嚴密ナ ラシム
	六午後二時警戒戒ニ當レル歩兵部隊ヨリ敵ハ單獨兵ニシテ殺害セリ トノ通報ヲ得タレハ一部ヲ残シテ警戒戒ヲ解ケリ
	七觀測所ニ在ル大隊長ヨリ假列長ニ電話アリ放列位置附近ニ假 列ヲ位置セシムヨリモ麒麟門十字路附近ニ於テ集結地ヲ決定ス

(昭和十二、四、四陸産藥組合誌)

ルヲ可トセントノ事ニテ直ニ貨車ニ車輜ヲ連絡兵岩橋伍長以下
 兵六名共放列シ殘シ午後三時半仙鶴門鎖出發シ麒麟門
 十字路附近ニ集結地ヲ定メ此處ニ假列ヲ集結シ此處ニ宿
 營スルニ決定龍ノ假列命令ヲ下セリ

假列命令ハ

假列命令

十月十四日午後四時

於麒麟門假列集結地

一、梶浦砲隊ハ仙鶴門陣地ニ於テ射撃ヲ準備ヲ完了シ待機シ
 在リ松田砲隊ハ目下後方ヨリ現在地ニ向テ前進ノ途中ニアリ
 ニ山本隊ハ集結位置ヲ現在地ニ定メ宿營ス

三、衛兵ハ司令一上等兵ニ歩哨十二ヲ以テ編成シ宿營地附近ニ

警戒戒ニ任スベシ

四、中原少尉ハ今ヨリ速カニ各小隊ヨリ貨車各々一車輜ヲ出シ三
 車輜ヲ以テ鎖シ殘置シ食料其ノ他殘置品ヲ積載シ且ツ
 所有ノ數量ヲ補給シ現在地ニ列ヲ返スベシ途中ニ於テ本隊ニ

進行シ得ヤリシ故障車三一三号車ヲ調査シ現在地ニ到着シ
得ル如ク処置スベシ

五、余ハ本夜ハ乗用車三〇号車ニ在リ

飯列長 山本中尉

下達法 各小隊長ヲ集メ口達筆記セシム

仙鶴門鎖
陣地撤収

九、午後五時五十五分機砲隊放列陣地ニ残留セル連絡兵若

橋伍長ノ指揮スルニテ車輛ハ彈藥ヲ積載現在地ニ到着シ

同時ニテ報告ニ接セリ放列ハ只今ヨリ直ニ撤収飯列ハ全車

輛ヲ以テ放列陣地ノ彈藥ヲ速ニ麒麟門ニ集結スベシト

依而直ニ全員ヲ集メ督勵全貨車ノ積載地物ヲ現在地ニ却下空

車トシ谷口准尉ヲ以テ現在地ニ整備ノ任ニ當ラシメ飯列長ハ空

車全車輛ヲ指揮シテ放列陣地ニ至リ彈藥ノ撤収ヲ開始シ午

後八時全部集結ヲ終了其日大隊長ニ報告ス

一〇、午後八時大隊長ヨリ氣球隊ノ兵員輸送ノ爲メ自動貨車二

昭和十一年十一月（奥谷稿）

3.

2237

ヲ仙鶴門鎮十字路ニ差シ出スハリ命ヨリ直ニ空車ニ轡ヲ貸與ス

正午後九時麒麟門集結地ニ歸營ス

其大隊副官ヲ通シテ九ノ如キ口連命令ヲ受テ

ハ大隊假列ハ明早朝ヨリ南京城外中央体育场ニ集結ス

口集結際彈藥ハ九ノ如キ準備ス

破甲榴彈約一五〇發 夾銳彈約一〇〇發

其本日走行距離 一一五軒

十二月十五日

十二月十五日

天候

晴

於新村中央体育場

一、午前七時三十分大隊假列命令ヲ下シ爾後、行動ニ對シ指
示ヲ與フ假列命令左ノ如シ

假列命令

假列命令

十二月十五日午前七時三十分

於麒麟門十字路宿營地

一、部隊ハ南京東北方中央体育場附近ニ向テ集結ヲ命ぜラル

二、山本隊ハ今朝朝食ヲスマセ午前八時現在積載シタルマニテ

集結地ヲ中央体育場附近ニ移動前進セトス

三、中央体育場ニ集結スル彈藥食料燃料ハ左ノ如シ

一、破甲榴彈 六車輛

一四四

二、尖銳彈 四車輛

九二

(三、四發ハ攻城砲兵支隊ニテ破甲榴彈ト交換スル)

八、榴彈 一車輛

二四

昭和十二、十、(奥谷稿)

4.

2239

	榴霰彈	四
	合計	二六四發
	ホ一號裝藥	一五二
	ヘ二號裝藥	一二〇
	ト信管門管所要數	
	キ食料 現在地及鎮江ニアル全量	
	リ燃料 現在地及鎮江全増ニル全量 (之が爲メ丸山少尉ハ揮發油ヲ成ル可ク速ニ中央体育場ニ集結ス)	
	四前記以外ノ彈藥ニ就テハ別命スベシ	
	五中村准尉ハ今朝午前八時三十分現在地ヲ出發シ彈藥整備ノ爲メ三〇二號車ヲ以テ軍司令部ニ在ル攻城砲兵廠隊長ト連絡スベシ	
	六北村軍曹ハ各小隊ヨリ兵二名ヲ集メ之ヲ指揮シ現在地ニ残留シ彈藥ノ整備及後續車輛ト連絡ノ任ニ當ルベシ	

陸軍

2240

七、余、銀袋ト同時ニ假列ノ光頭ニ在リ中央体育場ニ至ル

假列長 山本中尉

下達法 分隊長以上ヲ集メテ口達筆記セシム

注意事項

一、中央体育場ニハ軍直砲兵隊ノ他部隊モ集結スニ付キ

整備ヲ嚴ニスヘシ

ニ、南京入城ヲ控エテ連日ノ戦勝ニ氣分緩ミ在ルカノ如キ軍規

風規上免角面白カラヌ者他部隊ニ見受ケ我が部隊ニ於テハ

一段ノ注意ヲ要ス

三、指揮官ノ許可ナシテ各自單獨ヲ以テ徵發又ハ散歩ス

ル等ノ行動ヲ禁ス

四、當分ノ間飲酒ヲ嚴禁ス

(特ニ支那酒等ヲ勝手ニ徵發ナシ飲酒スベカラヌ)

五、故障アル車輛ハ速カニ大隊修理班車若クハ移動修理班ニ

昭和十二、十一、(奥谷精)

2241

入庫ヲナス等ノ處置ヲナシ速カニ完全ナル車輛トナスベシ
完全ナル車輛ハ洗車ヲナシ整正備スベシ

以 上

三、午前八時休戦ヲ整正、麒麟川宿営地ヲ出發中央体育場ニ
向テ前進ス同九時中央体育場到着直ニ大隊長ニ報
告、彈藥ノ却下地、及宿営地ノ指示ヲ受テ独攻ニ作命第
四十五號ヲ受領シ各指揮者ニ區署ヲナス、

四、午後三時谷口准尉指揮ニテ自動貨車六ヲ以テ鎮江ニ殘留
セル揮發油ヲ各現在地ニ集結セシメテ出發ス

五、貝本軍曹ハ燃料徵發ニ趣キ南京陸軍軍官學校附近ニ
於テ揮發油ニヨリ罐オイル十三罐ヲ徵發持テ歸ヘリ

六、午後五時鎮江ニ向テ中原少尉ヲ指揮スルニテ車輛ハ食料其ノ
他ヲ積載歸隊セリ

七、一部ハ負ヲ以テ中央体育場グラウンド下ニ宿営準備ヲナシメ

之各小隊以下ノ人員ヲ宿營セシメ大隊本部ト連絡上既列
 本部並ニ附屬ノ宿營地ヲ同体育場北方高地大隊本部前
 家屋ニ定メ之ヲ使用各小隊ト連絡ヲ保ツ

昭和十二年十一月(奥谷稿)